

令和8年度 第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立茨木支援学校
校長	木下 美香子
准校長	紙野 泰彦

開催日時	令和8年6月24日(水) 10:00~12:00
開催場所	府立茨木支援学校 会議室
出席者(委員)	鈴木 博(本校元校長) 吉田 紳吾(摂津市障害者職業能力開発センター) 吉田 栄一((株)十全) 久保 浩己(地域コーディネーター) 林田 理恵子(PTA 会長)
出席者(学校)	校長:木下 准校長:紙野 事務長:一ノ瀬 教頭:平水、小寺 首席:助口、井上、細川、下田 部主事:中村、高良、生野、田中 指導教諭:吉田 教務部長:板口
傍聴者	0 名
協議資料	令和8年度 学校経営計画 令和8年度 授業アンケート 令和8年度 使用教科用図書一覧

議題等
次第 1 学校運営協議会委員の紹介 2 学校運営協議会 会長選出 3 学校見学 4 令和8年度 学校経営計画について 5 令和8年度 授業アンケート実施について 6 令和8年度 使用教科用図書について 7 意見書について 8 その他(事務連絡等)

協議内容・承認事項等（意見の概要）

2 学校運営協議会 会長選出

3 学校見学

4 学校経営計画について

- ・昨年度生起した教員による不適切な言動を重く受け止め、教職員の心理的安全性を確保して互いに指摘し合える風通しの良い教職員集団作りをめざす。
 - ・通学バスについて、保護者懇談会等をとおして保護者と共通理解を図り、より一層安全安心な運行体制の整備に努めていく。
 - ・地域との交流をより一層深め、学校だけでは解決が難しい課題について地域の知見や協力を得ながら対応していく。
 - ・大規模災害を想定した引継ぎ訓練を6月に実施し、成果と課題を確認した。今後も新たな防災情報運用を踏まえながら、実用性のある訓練となるよう、取り組んでいく。
 - ・校内授業見学週間を設定し、教員がお互いに授業を見学し意見交換を行うことで、さらなる授業力の向上をめざす。
 - ・進路実績について、昨年度は 3 名の企業就労があった。
 - ・過去3年間に企業就労した 7 名について、定着率100%を確認している。
 - ・進路に係る今年度の取組みとして、進路説明会、事業所見学会、進路講話、障害年金についてなどの保護者を対象とした講話をおこなう予定としている。
- 職業基礎コースの充実に向け、喫茶の取組みを通じたコミュニケーション能力の向上や、L チャレンジと連携した取組みによる清掃技能の向上を推進していく。
- また、先日開催されたアビリンピックに3名の生徒が出場した（動画をとおして競技の様子を共有）。

【意見・質疑応答】

委員

- ・学校を訪問する機会が年に数回あるが、今回、学校経営計画の説明を受けたことで、学校の取組みへの理解がより深まった。
- ・ひまわりフェスタがなくなったことは残念に感じている。地域の方々からも同様の声を聞いており、そのような思いを受け止めながら、子どもたちと地域の方々がしっかりと関わり合える機会が再び設けられれば良いと考えている。。

→校長

- ・地域との交流について、行事の精選が進んだ背景として、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、働き方改革の視点も大きく影響したと考えている。今後はコロナ禍を経て社会状況が変化していることも踏まえ、地域との交流の在り方について、改めて探っていきたい。

→委員

- ・コロナ禍以降、学校を取り巻く状況は大きく変化しており、教員の働き方改革も進んできていると感じている。学校としての判断を尊重しつつ、今後、子どもたちや地域との新たな機会が生まれることを期待している。引き続き、学校運営協議会委員として、外部の視点から様々な提言を行っていきたい。

委員

・学校見学を通して、学校の雰囲気を感じることができた。タブレット端末の活用促進など、社会や技術の変化が進む中、教育現場においても柔軟な対応が求められている。また、人材育成においては若手・ベテランそれぞれに難しさがあるが、心理的安全性が確保された環境の中で、自らを振り返り成長できる機会が重要である。アンケートやヒヤリハット事例の活用を通して意識の向上を図り、よりよい組織づくりにつなげてほしい。

委員

委員

・個別の教育支援計画や移行支援計画の取扱いについて、府としての統一した取扱いや卒業時に引き継ぐ書類の基準があるのか伺いたい。学校によって対応が異なるため、卒業後の進路先との円滑な情報共有や移行支援計画の活用について検討してほしい。

→准校長

学校間で取扱いに差異があることは認識している。移行支援計画の引継ぎについては個人情報保護の観点も踏まえる必要があるため、進路先との適切な情報共有のあり方について、探っていきたい。

委員

・卒業生の進路先における定着状況について、継続的な追跡や実態把握を充実させてほしい。また、夏以降に事業所へ通えなくなった生徒への支援についても検討をお願いしたい。

ひまわりフェスタは PTA の任意団体化や運営資金、土曜開催の負担等を背景に終了したが、地域との交流の在り方については今後も PTA として検討していきたい。

→准校長

・卒業後の定着状況の追跡やフォローについては課題として認識しており、実施方法や体制のあり方について、探っていく。

5 令和 8 年度授業アンケートの実施について

- ・今年度も府が定める方法に基づき実施する。
- ・児童生徒を対象に 2 回、保護者を対象に 2 回実施し、プライバシーに配慮した方法で回収する。
- ・アンケート結果は、教員の授業力向上や授業改善に活用する。

【意見・質疑応答】

委員

・教員の本分は授業である。授業アンケートを有効活用し、教員の授業力向上につなげてほしい。

6 令和8年度使用教科書について

使用教科書については、検定教科書及び文部科学省著作教科書を基本として採択している。また、児童生徒の実態や学習状況に応じて、附則第9条に基づく一般図書を採択する場合もある。次年度の使用教科書の採択については、次回の学校運営協議会において報告する予定である。

【意見・質疑応答】

委員

・教科書は時代を反映するものであり、保護者の関心も高いため、十分な情報提供をお願いしたい。また、支援学校以外の学校から異動した教員を含め、すべての教員が自立活動や支援学校教育への理解を深めることが重要である。日常的に教員同士が学び合い、話し合える職場風土を大切にしてほしい。

7 意見書について

・現時点で提出なし。

8 諸連絡

・今後の予定について、第2回は11月、第3回は2月ごろに開催予定。

次回の会議予定日時と場所： 令和8年11月ごろ 於 本校会議室